

コロナ禍における 神奈川県内の血液事業について



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

神奈川県赤十字血液センター
事業推進一部 田中 真人

新型コロナウイルス(COVID-19)感染推移

2020年1月6日 中国武漢市で原因不明の肺炎が流行 厚労省が注意喚起

2020年1月8日 WHO「武漢市の肺炎 新型ウイルスの可能性否定できない」

2020年1月14日 WHO「新型コロナウイルスを確認」

2020年2月3日 ダイヤモンド・プリンセス号が横浜港に入港

2020年2月18日 **テレワークや時差出勤**で感染拡大防止へ

2020年2月21日 安倍首相が全国の**小中高等学校に臨時休校**要請の考えを示す

2020年3月9日 専門家会議「3条件重なり避けて」=**三密回避**

～NHKのニュースアーカイブから引用～

緊急事態宣言

2020年4月7日～5月25日

2021年1月8日～3月21日 **まん延防止等重点措置**

2021年4月25日～5月11日

2021年4月28日

2021年7月12日～8月22日

}

6回の延長を繰り返してずっと継続

2021年9月13日～9月30日

2021年9月30日

2022年1月9日～1月31日 **オミクロン株 沖縄・広島・山口 3県にまん延防止等重点措置**

令和2年2月からコロナの影響が続いている

新型コロナウイルス(COVID-19)が血液事業-特に献血者確保-に与えた影響

外出の自粛要請 → 特に **街頭献血協力者数の減少**

テレワークの推進 → **企業・団体献血の中止・延期**

リモート授業の導入 → **高校・大学献血の中止**

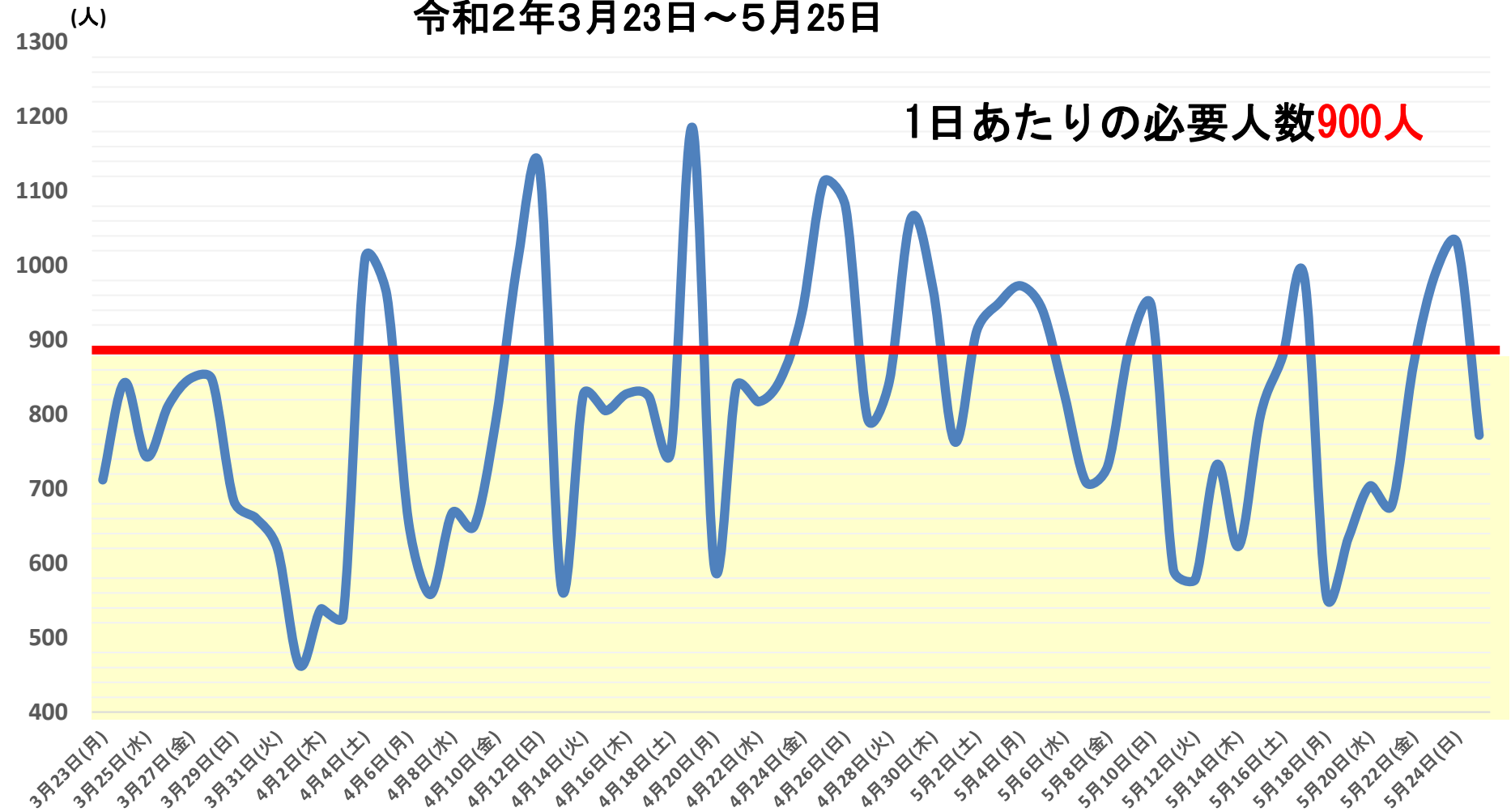


神奈川県内の赤血球採血量の3分の1を担っている献血バスが影響を受けた

R2年度	2,209稼働中	648会場が中止 (29%)
R3年度12月末まで	1,597稼働中	317会場が中止 (20%)

最初の外出自粛要請～緊急事態宣言下での献血者数

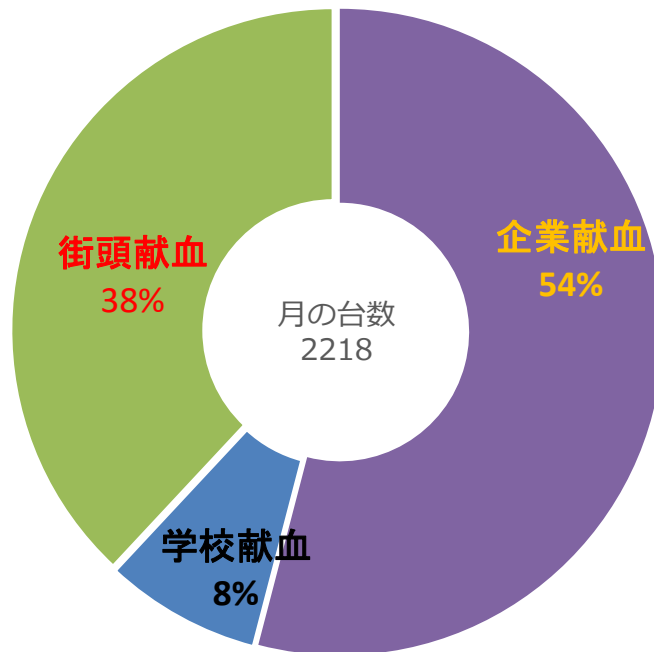
令和2年3月23日～5月25日



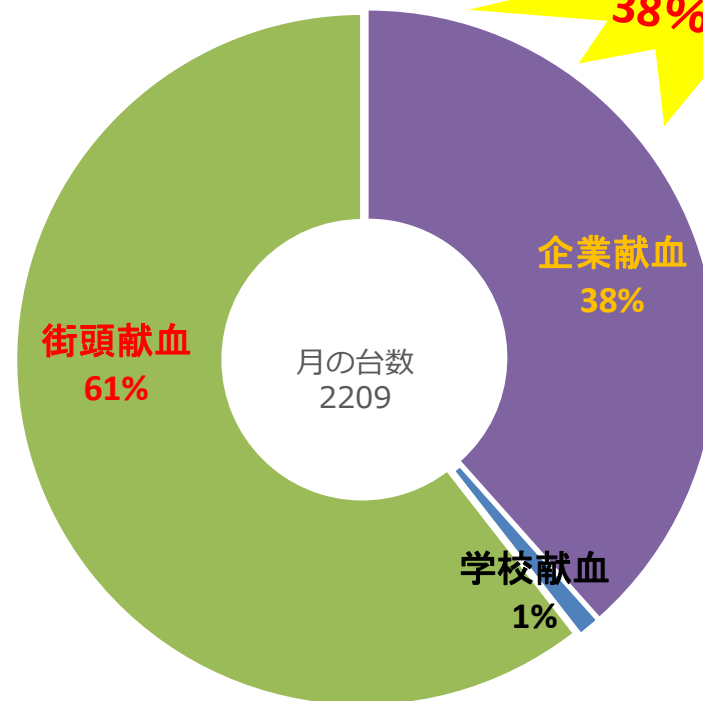
必要量を確保できたのは、土日や祝日のみ（主に献血ルームでの協力）

献血団体の変化

2019年度3月まで



2020年度3月まで



中止会場は主に駅前やショッピングモールへ振替

街頭献血協力者数の減少への対策

📝 コロナ禍でも輸血が必要な患者さんがいる！
「献血は不要不急の外出ではない」ことをアピール

SNS、ホームページなどで献血の必要性を発信し続ける

**緊急事態宣言下でも
献血は必要です**



他に代わるもののない輸血医療に使用される輸血用血液を
日々安定的に患者さんへお届けする必要があることから、

**献血へのご協力は
不要不急の外出にはあたりません。**

新型コロナウイルスと戦う医療従事者だけでなく、
緊急事態宣言発令下に献血にいらして下さる方々も
患者さんにとっては、ヒーロー・ヒロインです。

神奈川県では毎日約900人の献血協力が必要です。

献血に来てくださる皆さまご自身のため、
献血会場へのご来所時には、道中のマスク着用や、会場設置の消毒薬の活用等にご協力をお願いします。

街頭献血協力者数の減少への対策

献血バス、献血ルームの感染対策をアピール その1

献血会場における 新型コロナウイルス 感染対策について

ご入場時のお願い		
		
マスク着用 <small>※マスクを密着して正しい装着法を 必ずご確認ください</small>	体温測定 <small>※感染者が確認された方は 入場をご遠慮いただいております</small>	手洗い又は 手指消毒
混雑・密集回避のためのお願い		
		
事前予約 <small>※予約時間にお越しください。 予約されていない場合は必ず事前予約をお願いします</small>	少人数でご来場 <small>※お申し込み人数以内にお越しください</small>	十分に休憩した後は 速やかな帰宅
職員と会場内の取り組み		
		
職員のマスク着用・ 体温測定・手指消毒の 徹底	換気と消毒清掃の 徹底	手指消毒液の 設置

 **日本赤十字社** 人間を救うのは、人間だ。 together for humanity.
Japanese Red Cross Society

車内換気 について

**移動採血車では
常時、車内空気の
入替を行っています**

[車内換気扇による空気排出]



移動採血車 車内空調イメージ図



風量性能「強」モード：(5.7m³/分)「弱」モード：(4.2m³/分)

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society

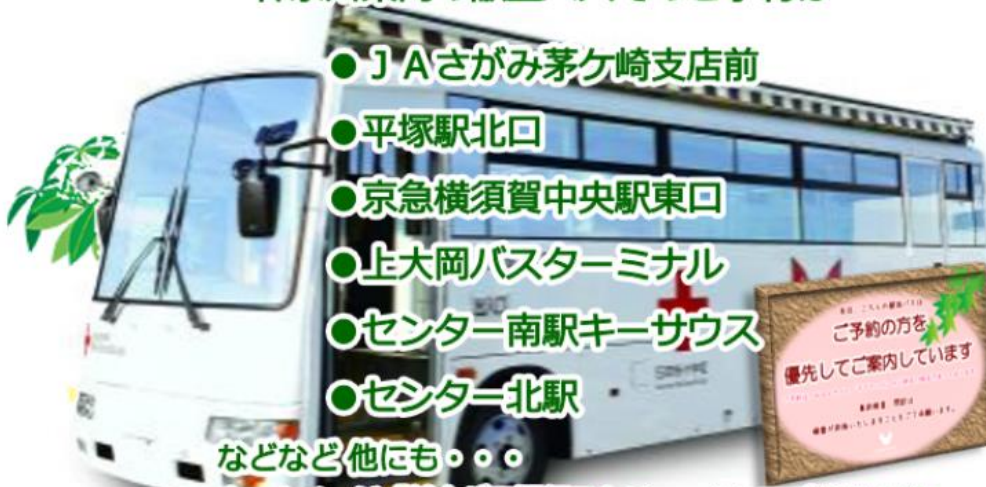
街頭献血協力者数の減少への対策

献血バス 感染対策をアピール その2

3密の回避や献血者の利便性の向上のため、**予約のお願い**を推進

神奈川県内の献血ルームご紹介

* 神奈川県内の献血バスでのご予約は・・・



などなど他にも・・・

ホームページ「献血バス運行スケジュール」でご確認ください。

* 400mL献血(体重50kg以上)のみ予約受付いたします。

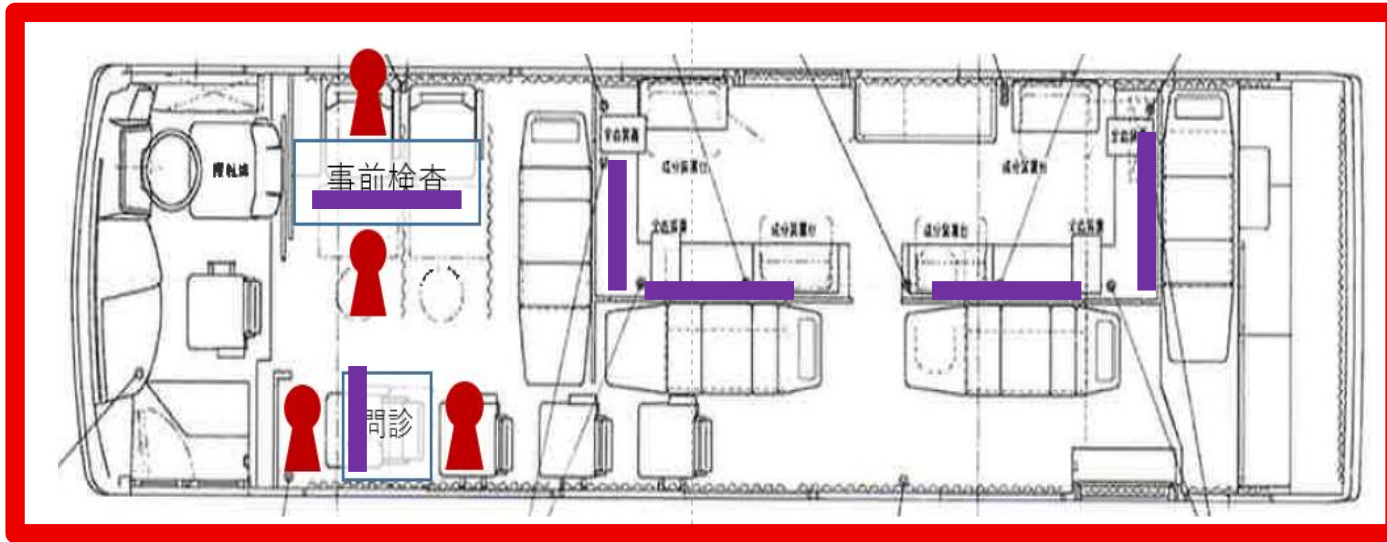
●イオンモール大和

ライトコート入口前で献血バスがお待ちしております♪



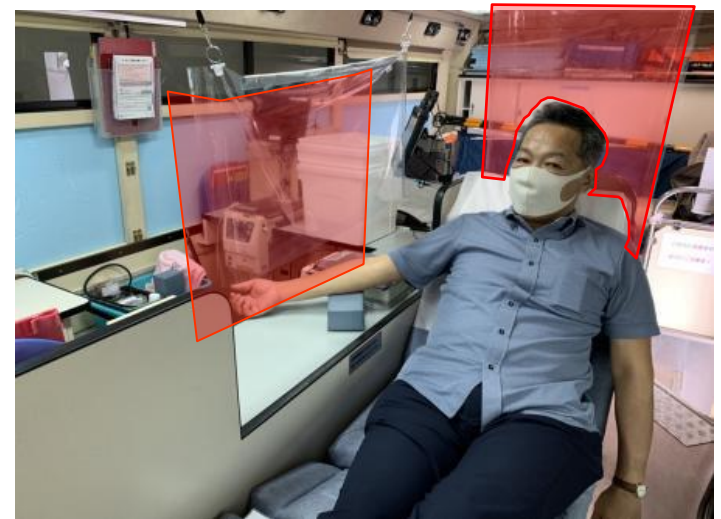
献血バスの配車先と予約の空き状況を明示

献血バスのパーテーション設置箇所



設置例

献血バスは常時換気していますが、
更に献血者と採血スタッフとの間に
パーテーションを設置



献血ルームの感染対策をアピール

固定施設のパーテーション設置



当日予約の空き状況を毎日更新してHPに表示

→ **空き時間帯の予約へ誘導**

血液センターHP
表示の例

The screenshot shows two donation options: **全血献血** (Whole Blood Donation) and **成分献血** (Component Donation). Below these, a red dot indicates that available times are shown. The main part of the screenshot is a photo of the donation room at Yokohama Station East Exit Crossport Blood Room, with a central list of time slots. The left column (Whole Blood) has slots from 11:00 to 18:00 in 30-minute increments, all shown in red. The right column (Component) has slots from 11:00 to 17:00 in 30-minute increments, all shown in teal.

全血献血	成分献血
11:00	11:00
11:30	11:30
12:00	12:00
12:30	12:30
13:00	
13:30	13:30
14:00	14:00
14:30	14:30
15:00	15:00
15:30	15:30
16:00	16:00
16:30	16:30
17:00	17:00
17:30	
18:00	

企業・団体献血の中止・延期への対策

新規街頭献血会場の開拓

これまでは、ターミナル駅や大型ショッピングモールなど多くの人が集まる場所に献血バスを配車していましたが、**おうち時間が増えた**ことから、住宅街の中規模スーパーや郊外型店舗に献血バスの配車を依頼。



IKEA港北店 毎月定例の献血協力をいただいています

街頭献血協力者数の減少への対策 マスコミへの取材依頼 ニュースリリースの発出

Press Release  日本赤十字社 神奈川県赤十字血液センター

報道機関各位 令和2年10月15日(木)

**「輸血需要」増加、「献血者」減少で
全血液型の血液在庫量がひっ迫しています**

神奈川県赤十字血液センター(横浜市港北区)では、在宅勤務や遠隔授業の推進により輸血に協力いただける企業・団体が不足し、県内の献血量の1/3を担う献血バスの配車先が激減しています。その結果、平日を中心に県内で1日に必要な献血者数「900人」に大きく届かない日が継続する、非常に厳しい局面を迎えています。

加えて、輸血に必要な血液の確保は関東甲信越全域で行っていますが、10月は同地域内で400mL全血献血を由來とする赤血球製剤の需要が増加しており、10月13日時点で適正在庫を切っています。

関東甲信越管内の血液在庫量推移



約14,700 (平日在庫(月間平均)) / 約12,700 (9月) / 約10,000 (10月13日時点の在庫)

1日平均 約1万4,700人分 (概ね4日分保有)

適正在庫: 約1万800人分 ※1日使用量の3日分

当センターでは、献血バスの受付時間延長や、ご登録いただいた方々に電話・メールによる献血の依頼要請を行っています。それでもなお在庫量が切迫しています。

輸血医療に欠かすことのできない血液の確保にあたり、広く一般から、緊急の献血協力を必要としています。

◆献血バスの配車中止・献血者数が必要数に届かない厳しい状況が継続しています

7月	計画: 189会場	中止: 59会場 (32%)
8月	計画: 178会場	中止: 16会場 (9%)
9月	計画: 175会場	中止: 42会場 (25%)

全血献血は在宅勤務や遠隔授業の影響が顕著です。

お問い合わせ先: 神奈川県赤十字血液センター 総務課企画係
 TEL: 045-834-4012 / Mail: kag@nccrcc.jrc.or.jp

取材件数と媒体内訳

- ・TV 5件
(NHK/テレビ朝日/日本テレビ/TBS/KBS)
- ・新聞 43件
(朝日/毎日/読売/東京/日経/神奈川)
- ・地域メディア 205件
(テレビ神奈川/FMヨコハマ/タウンニュースなど)

高校・大学献血の中止への対策

若年層への献血思想の普及強化

神奈川県薬務課と協働で 高校(243校)にチラシ6万2千枚 配布

高校や大学に献血バスを配車するのは献血者確保だけではなく、**若年層への献血思想の普及**という重要な意味があります。

キャンペーンに参加してくれた高校生
12月末現在 **314人**(参考R2年度合計 272人)

自分の血液型を知って

高校生活もそろそろ終わり 自分に血液型知らないし 記念に献血に行ってみよう!

ねー、自分の血液型って知ってる? 人? 知らないよ ぼくも知らない

あ! 私だけじゃないんだ...

献血バスで行ってみよう!

血液型がわかる 16歳からできる 時間は1時間くらい(受付は15分くらい) 輸血が必要な人を救うことができる

献血バスで行ってみよう!

献血に来てみた!

私もA型でした!

Wi-Fiもあるし

ドリンクも無料

スマホの充電もできるよ!

SNSで発信してね!

モバイルバッテリーもらえる!

命を救えるんだっ!

2022年4月末まで このチラシを持参またはスマホで撮影した画像を提示し献血に協力してくれた方につきせり!

神奈川県内では毎日約900人分の献血が必要です。

1時間 高校生生活 26,280時間 を、顔も見えない誰かのために。

※16歳未満は20歳以上27歳未満まで

関東労災病院輸血部の浦谷主任オリジナルのマンガ調イラストを使用してのTweet



神奈川県赤十字血液センター (公式)
 @kenketsu_PR

【皆さんに知ってほしい】

献血は不要不急の外出にあたりません。
 献血してくださる人が減っても、
 輸血を待つ患者さん数は変わりません。
 輸血用血液は有効期限があり、
 他に代わるものはありません。
 献血会場は感染予防に細心の注意を払っています。

献血は「救える命を守る勇気ある行動」です。



午後4:07 · 2020年4月10日 · Twitter Web App

ツイートアクティビティを表示
 1.1万 リツイート 8,239 いいねの数

閲覧数 141万超、リツイート 1.1万超、いいね 8千超
 血液センター開設以来？の**バズるつぶやき**！

コロナ禍での医療機関との連携強化 献血バスの配車受入れ

企業・団体での献血バス配車中止が続く中、コロナと戦っている医療関係者様のご理解により、献血バスを多数配車することができました。

	2019年度	2020年度	2021年度	上半期のみの比較
稼働数	55.5	42.5	16.5 (上半期)	2019 26.0稼働 2020 18.5稼働 2021 16.5稼働
受付数	2,666人	2,162人	836 (上半期)	

このコロナ禍でありながら、多くの医療機関での献血実施協力は大変助かりました

コロナ禍での医療機関との連携強化

LIFE GOES ON #3 作成



**LIFE
GOES
ON**

#3 けんけつ ありがとう😊

小児がんなどで輸血を必要とする子どもたちがいます。
献血への感謝の気持ちと小さな願いを、今、私たちへ。



子どもたちやご家族、
医師へのインタビュー
動画はYOUTUBEで

LIFE GOES ON #3 献血



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

神奈川県立こども医療センター内に輸血経験者やそのご家族のメッセージを集めるメッセージポストを設置。

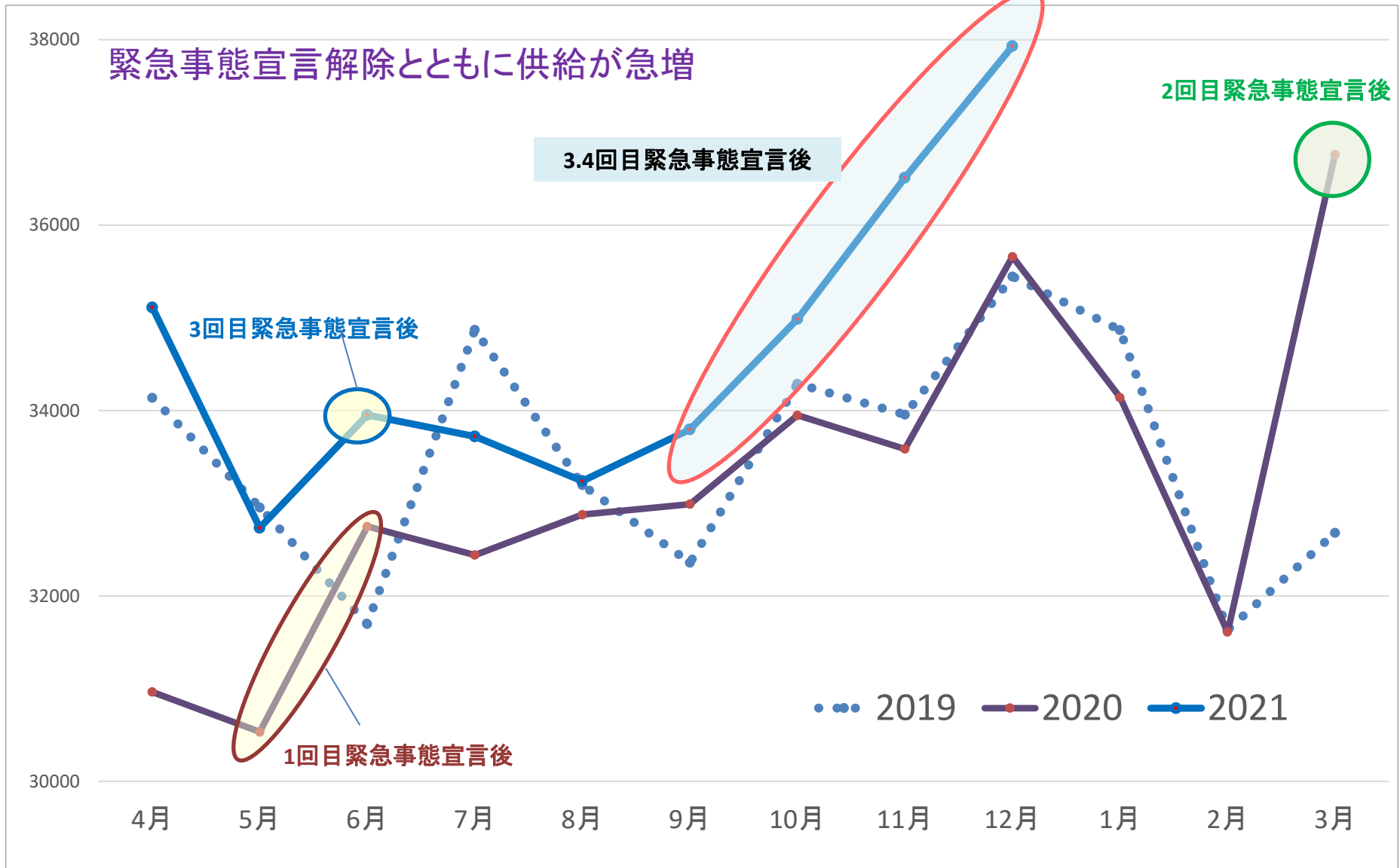
お子様の治療で輸血に助けられたという声がポストに入り、「子ども」に焦点をあてたLIFE GOES ONシリーズの作成しました。

神奈川県立こども医療センター血液・腫瘍科/治験管理室 柳町 昌克先生が動画を通して、献血の大切さや献血への協力呼びかけをしてくださいました。

昨年11月5日公開/現在1851回再生/血液事業学会でもPRさせていただき、神奈川県含む12都道府県で活用中です。

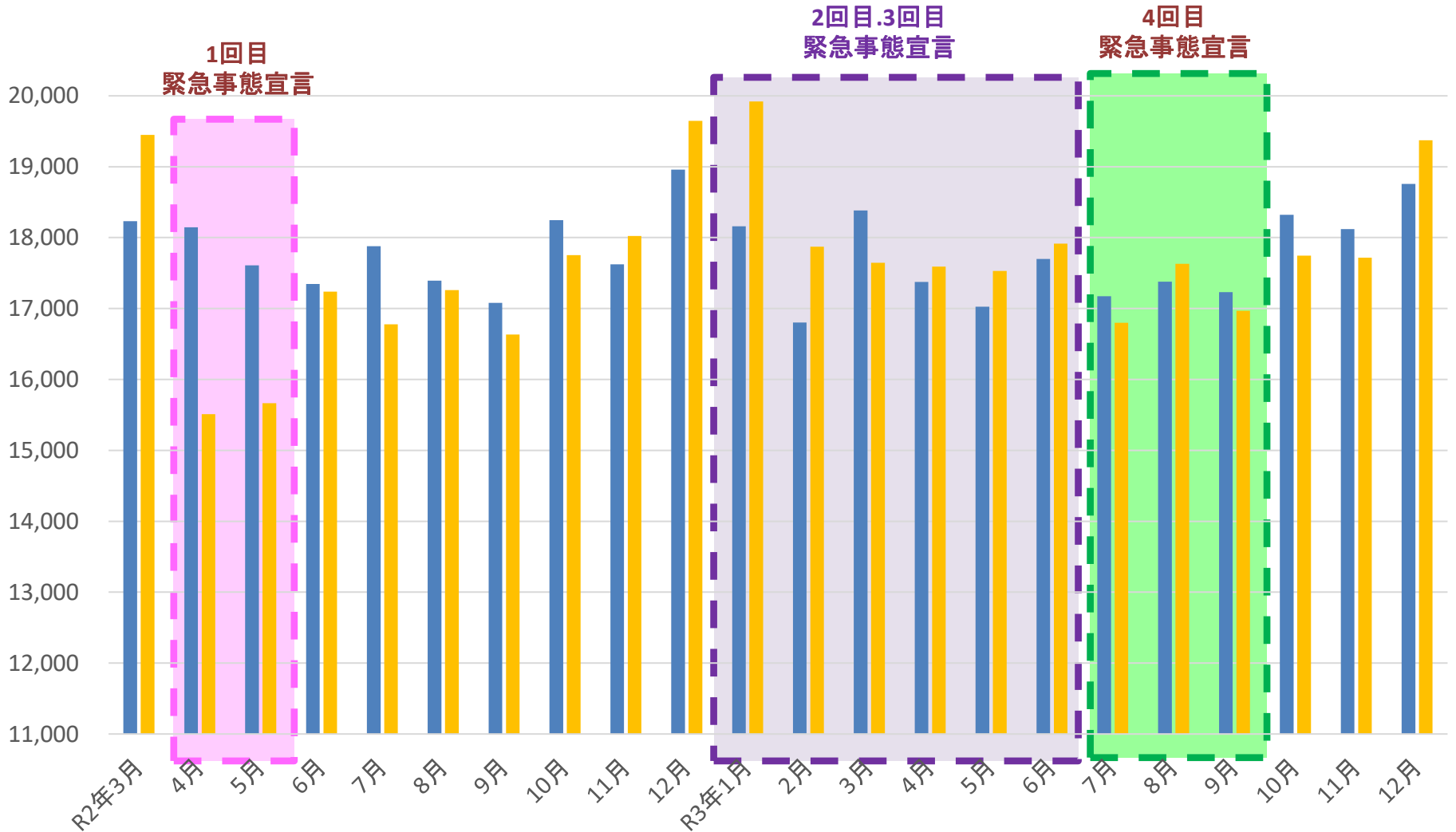
<LIFE GOES ONシリーズは他にも2作あります>
当血液センター公式YouTubeにて公開しておりますので、併せてご覧ください。

神奈川県内赤血球製剤の供給推移



採血目標と採血実績

■ 採血目標 ■ 採血実績



関東甲信越ブロック在庫推移(赤血球製剤)



新型コロナウイルスに関連した献血受入れ基準

新型コロナウイルス感染症対策として

以下に該当する方は

「献血」をご遠慮いただいております。

- ◆ **新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）で陽性になったことがあり、症状※1 消失後（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）4週間以内の方**
- ◆ **新型コロナウイルス感染症が疑われる症状※1 があり、新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）を受け、結果が陰性であったが、症状出現日から2週間以内及び症状消失から3日以内の方**
- ◆ **現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる症状※1 や、味覚・嗅覚の違和感を自覚する方**
- ◆ **保健所から新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者※2 と判断され、最終接触日から2週間以内の方**

※1 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など
※2 「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」の感染可能期間（発症2日前*から入院や自宅待機を開始するまでの間）に接触した方のうち、次の範囲に該当する方です。*「無症状感染体保有者」の場合は、「検体採取2日前」とする。

- 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった方
- 適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた方
- 患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い方
- 手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と15分以上の接触があった者
（国立感染症研究所「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」（2021年1月8日認定版）参照）

献血にご協力いただいた方へ

新型コロナウイルス感染症に関するお願い

以下に当てはまる場合は、献血日、氏名、生年月日を、できるだけ早く血液センターにご連絡をお願いします。

- 献血後4週間以内に
 - ① **新型コロナウイルス検査（PCR、抗原または抗体検査）が陽性となった**
 - ② **医療機関で「新型コロナウイルス感染症」と診断された、または「新型コロナウイルス感染症の疑い」とされPCR または抗原検査を受けた。**
 - ③ **息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがあった（医療機関を受診し、新型コロナウイルス PCR または抗原検査を受けた場合を含む）**
 - ④ **発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状（全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など）があった。（医療機関を受診し、新型コロナウイルス PCR または抗原検査を受けた場合を含む）**
- **保健所から新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査の対象（濃厚接触者）であると連絡があり、濃厚接触日以降4週間以内に献血していた。**
- **接触確認アプリ COCOA 等から接触通知があり、接触日以降4週間以内に献血していた（新型コロナウイルス PCR または抗原検査を受けた場合を含む）**

症状の発生状況等もお聞きすることがあります。

ご連絡をいただいた方のプライバシーは確実に守られますのでご安心ください。

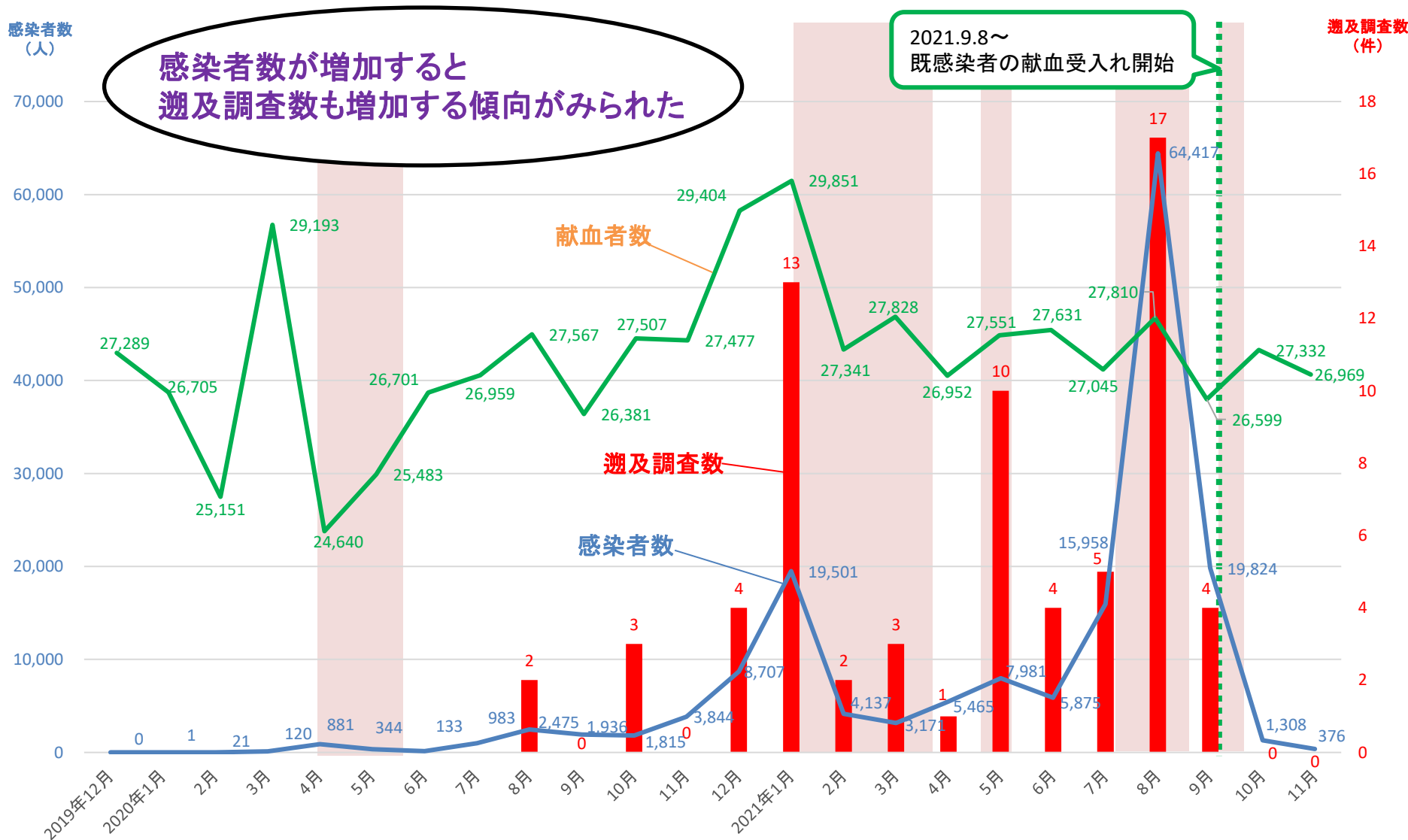
遡及調査対象

基本的には献血基準から外れるものすべてが遡及調査対象となる。

【実際に発生した事例】 ※献血基準変更のため、一部現在と異なる基準あり

- ・献血後に新型コロナウイルスに感染した。
- ・献血後4週間以内に濃厚接触者となった。
- ・献血後4週間以内に発熱などの症状があり、PCR検査を受けたが陰性だった。
- ・「(既感染者は治癒後も献血不可としていたにもかかわらず)過去に新型コロナウイルスに感染しており、治癒した後に献血していた」ことが、該当者の献血会場に来場した際に判明した。(2021.9.8から既感染者の献血受入れ開始)

神奈川県内のコロナ感染者・献血者・遡及調査の推移



【神奈川県内の新型コロナウイルス関連遡及調査発生状況】

遡及調査件数..... **68件**

そのうち当該製剤が未使用であり、回収となった件数..... **13件**

新型コロナウイルス関連の遡及調査発生時には

- **輸血を介して新型コロナウイルスに感染することはあるのか？**
→現在まで輸血による感染事例は報告されていません。
- **輸血を介した感染事例はないとのことだが、患者に説明をするべきか？**
→遡及調査ガイドラインに基づき説明をお願いいたします。
- **製剤の保管検体を用いて新型コロナウイルスの遺伝子検査を行うとのことだが、検査結果はいつ出るのか？**
→1週間以内を目安にご連絡いたします。
- **新型コロナウイルスに関連した献血の受け入れ基準はどのように定められているのか？それらはどのように周知されているのか？**
→前出スライドのとおり定められており、受け入れ基準を献血会場に掲示するとともに、献血者に対しては献血受付時に職員が確認を行っております。
- **献血血液に対して新型コロナウイルスの検査は行わないのか？**
→現時点では輸血によって感染する・重大な健康被害を起こすとの知見は得られていないため、導入予定はございません。

など、多くの医療機関からお問い合わせやご意見をいただいた。

新型コロナウイルス(COVID-19)が 神奈川県赤十字血液センターに与えた影響

コロナ禍で厳しい状況ですが、神奈川センターでは、
『ピンチをチャンスに変える』という前向きな発想で取り組んでいます。

結果、レジリエンスが高まり、更に、県内医療機関との連携がより
強固になったと感じております。

今後とも採血は厳しい状況が続きますが、安定供給に努めて
まいります。

今後ともよろしく願いいたします！